

知ってほしい、“頼れる制度”という選択肢

本人も、ご家族の方にも安心を

彦根市社会福祉協議会内の彦愛犬権利擁護サポートセンターでは、成年後見制度についての相談を受け付けています。

「人口が減る一方で世帯数が増える、いわゆる核家族化が進んでいます。彦根でも独居の高齢者が増え、支援が必要な人が増えているのではないですか」と話すのは、同センターの城戸所長です。判断能力が低下していると、自宅を訪ねてきた



営業職員と長く話すうちに、必要のない商品を購入してしまうこともあるといいます。中には改修したばかりの自宅のトイレを再び改修直したり、2つ目のウォーターサーバーを設置するようなケースも。「納得して購入していればよいのですが、状況の判断ができていないと生活が立ち行かなくなってしまう。本人が支払えないと、ご家族に連絡がいくこともあります。」
成年後見人による財産管理や契約のサポートは、本人の生活を守るだけでなく、親族の安心にもつながります。

「福祉には多様な支援があり、それぞれの支援者が役割分担をしてチームで支えることが大切です。成年後見制度は、そのチームの一員を増やすことにつながります。本人にもご家族にも安心して日々を過ごしていただけるよう、積極的に制度を活用いただきたいです。」

成年後見制度に支えられて

特別養護老人ホームに入所する母親の金銭管理や契約・手続きなどを、成年後見人に依頼している阪井田さん。母親の認知症が進行すると、本人による正確な判断が難しくなり、さまざまなことに支障が出てくるようになりました。「必要のないものを買ってくるようになったんです。母本人も何かわからないものの請求書も届くし…。母のお金での支払いができず、私の収入から母の生活費をまかなうこともありました。」

老人ホームはもちろん、銀行や母親が手続きを行った団体や店舗からの電話も阪井田さんにかかってくるようになり、母親を守らないといけないというプレッシャーから夜も眠れなくなったといいます。

「本当に大変でした。そんなとき、成年後見制度を紹介してもらったんです。」親族のお金を預けるという重要な判断もあり、当初は不安を

感じることもありましたが、司法書士の資格を持つ成年後見人が選任され、支援は1年を経過しました。「成年後見人さんのことは、とても頼もしく感じています。**母のことを安心してまかせられる上に、私自身のストレスも減りました。**ご家族のことで同じ悩みを抱えている方に、ぜひおすすめしたい制度です。」



後見制度の支援を 利用するまで ～手続きの流れ～

「物忘れが多くなってきた」、「お金を使い過ぎるようになった」、「介護や福祉のサービスが理解できなくなってきた」。周囲の人にそんな「気付き」があれば、成年後見制度の活用についてご検討ください。実際に支援が開始する「審判・決定」までの大まかな流れをご紹介します。

気付き

生活の中で不安を感じたときが、成年後見制度の利用を考え始める最初のサインです。

窓口相談

彦愛犬権利擁護サポートセンターにご相談ください。申立てから審判・支援開始後まで支援します。

申立て

相談の結果、利用が必要と判断された場合、家庭裁判所に診断書や戸籍など必要書類をそろえて申立てを行います。

審判と決定

家庭裁判所での調査や面談を経て審判が出され、成年後見人などが選ばれると、制度の利用が正式に始まります。



ご相談は こちらまで

彦愛犬権利擁護サポートセンターでは、ご相談をお受けし、必要に応じて地域包括支援センターなどと連携し、その人の状況に合った支援を行っています。

親族でも、福祉の支援者でも結構です。お気軽にご相談ください。

出前講座 行きます

地域の老人会や自治会、関係機関などへの出前講座を開催しています。
※開催は、平日の9:00から16:45となります。



そのお手続き、サポートします！



当事者間の 情報交換に

年に1回、親族後見人の悩みや情報交換を行うことを目的に、講師を招いて親族後見人交流会を開催しています。これから成年後見人の利用を考えている人、話を聞いてみたい人はご参加ください。

彦愛犬権利擁護サポートセンター

☎ 22-2855 (彦根市社会福祉協議会内)

※彦愛犬権利擁護サポートセンターは、1市4町(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町)の委託事業です。